

# 宮崎県感染症週報

## ■ 宮崎県第20週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,208人(定点あたり32.6)で、前週比96%とほぼ横ばいであった。

前週に比べ増加した主な疾患は手足口病と咽頭結膜熱で、減少した主な疾患は水痘とインフルエンザであった。

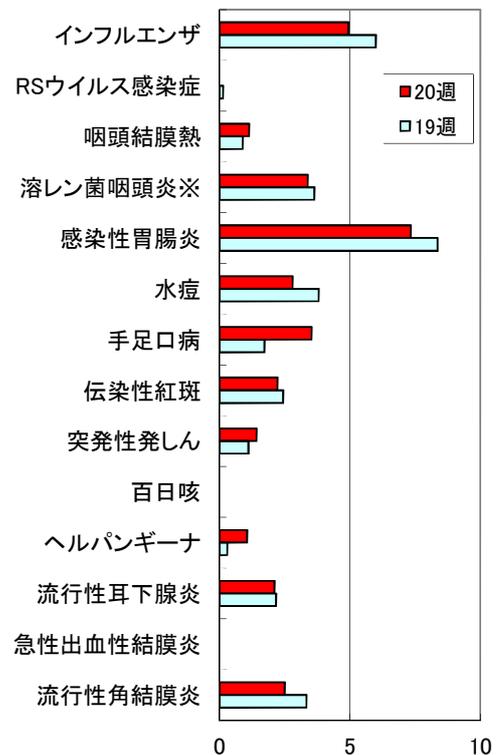
手足口病の報告数は127人(3.5)で前週比205%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(2.5)の約1.4倍と多い。延岡(11.8)、日向(7.3)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では1歳から3歳で全体の約7割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は41人(1.1)で前週比128%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(0.63)の約1.8倍と多い。延岡(2.8)、日南(2.7)、都城(2.0)保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から4歳で全体の約8割を占めた。全て10歳未満の報告であった。

インフルエンザの報告数は292人(5.0)で前週比84%と減少した。中央(12.0)、都城(10.1)、小林(7.6)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の34%、6-9歳が29%、10-14歳が24%、15-19歳が3%、20歳以上が10%を占めた。

無菌性髄膜炎1人が日南保健所から報告された。患者は0ヶ月の男児であった。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## □ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報	定点あたり報告数		年齢分布
	開始基準値	宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	3.4	延岡(8.8)	3歳~8歳で全体の約7割を占めた。
手足口病	5	3.5	延岡(11.8)、日向(7.3)	1歳~3歳で全体の約7割を占めた。
伝染性紅斑	2	2.2	高鍋(4.5)、宮崎市(3.1)、日南・日向(各2.3)	3歳~8歳で全体の約8割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.1	日南(6.0)	3歳~6歳で全体の約7割を占めた。

## ■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 3 例が宮崎市 (2 例)、高鍋 (1 例) 保健所から報告された。  
 《宮崎市保健所》・80 歳代の男性で肺結核。痰、呼吸困難がみられた。  
 ・80 歳代の女性で肺結核。発熱、呼吸困難がみられた。  
 《高鍋保健所》・50 歳代の男性で無症状病原体保有者。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : ○アメーバ赤痢 1 例が宮崎市保健所から報告された。50 歳代の男性で腸管アメーバ症。発熱がみられた。  
 ○髄膜炎菌性髄膜炎 2 例が宮崎市・小林 (各 1 例) 保健所から報告された。  
 《宮崎市保健所》・15 歳の男子で発熱、点状出血、ショック、DIC、多臓器不全、電撃型紫斑がみられた。  
 《小林保健所》・60 歳代の女性で頭痛、発熱、意識障害、項部硬直、DIC がみられた。  
 ○破傷風 1 例が宮崎市保健所から報告された。70 歳代の男性で筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、呼吸困難、後頭部痛がみられた。

## ■ 病原体情報 (衛生環境研究所 微生物部)

### □ 細菌 (平成 23 年 5 月 10 日～平成 23 年 5 月 23 日までに検出)

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日	衛研番号
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	5～9	男	2011.5.13	百日咳様疾患、咽頭痛	鼻汁	2011.5.20	11107
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0～4	女	2011.5.13	百日咳様疾患、上気道炎	鼻汁	2011.5.20	11108
<i>Salmonella</i> Infantis(O7:r:1,5)	5～9	女			便	2011.5.23	11109
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	0～4	男	2011.5.17		便	2011.5.23	11110
<i>Neisseria meningitidis</i> (髄膜炎菌)	10代後半	男	2011.5.16	発熱(37.4℃)、咳、痰、鼻水	咽頭ぬぐい液	2011.5.19	11116
<i>Neisseria meningitidis</i> (髄膜炎菌)	10代後半	男	2011.5.16	咳、痰、鼻水	咽頭ぬぐい液	2011.5.19	11117
<i>Neisseria meningitidis</i> (髄膜炎菌)	10代後半	男	2011.5.16	無症状	咽頭ぬぐい液	2011.5.21	11118
<i>Neisseria meningitidis</i> (髄膜炎菌)	10代後半	男	2011.5.16	無症状	咽頭ぬぐい液	2011.5.21	11119
<i>Neisseria meningitidis</i> (髄膜炎菌)	10代後半	男		発熱(40.0℃)、咳、痰、咽頭痛	血液	2011.5.19	11120
<i>Neisseria meningitidis</i> (髄膜炎菌)	〃	〃		(11120と同一人物)	喀痰	2011.5.20	11121
<i>Neisseria meningitidis</i> (髄膜炎菌)	10代後半	男		発熱、点状出血、ショック、DIC、多臓器不全	血液	2011.5.19	11122
<i>Neisseria meningitidis</i> (髄膜炎菌)	10代後半	男		発熱(39.1℃)、頭痛	血液	2011.5.20	11123

○ 都城保健所管内で幼児の兄弟から百日咳菌が検出された。

○ 小林保健所管内で発生した髄膜炎菌性髄膜炎の起原菌は *Neisseria meningitidis* で、生体外の環境では死滅しやすい菌である。このため、菌の輸送、保存には特に注意する必要がある。また、咽頭ぬぐい液など、雑菌が多い検体から髄膜炎菌を分離する場合は、特殊な選択分離培地を用いる必要がある。

□ ウイルス（平成 23 年 5 月 10 日～平成 23 年 5 月 23 日までに検出）

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
A群ロタウイルス1型	1	男	4.27	胃腸炎関連けいれん・ロタウイルス腸炎、38.0℃、胃腸炎(下痢、嘔気・嘔吐)	便	5.13
インフルエンザAH3型	7	女	4.28	インフルエンザ type A、38.9℃、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	5.10
インフルエンザAH3型	3	女	5.2	インフルエンザ type A、発熱、上気道炎(鼻汁)	鼻汁	5.10
ノロウイルスGⅡ型	11M	男	5.14	感染性胃腸炎(下痢、嘔気、嘔吐)、胃腸炎関連けいれん	便	5.14

○胃腸炎関連けいれん・ロタウイルス腸炎の小児からA群ロタウイルス1型が検出された。ロタウイルス胃腸炎に伴う合併症のうち、けいれんは頻度が高い。

○感染性胃腸炎の乳児からノロウイルスGⅡが検出された。

○インフルエンザAと診断された小児からインフルエンザAH3型(A香港型)が検出された。

■ 全国第 19 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 17.3 で、前週比 111%と増加した。今週増加した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 6,695 人(2.1)で、前週比 159%と増加した。石川県(4.8)、新潟県・福井県(各 3.8)、山形県・鳥取県・宮崎県(各 3.6)からの報告が多く、年齢別では 4 歳から 7 歳で全体の約半数を占めた。

インフルエンザの報告数は 9,675 人(2.0)で、前週比 58%と減少した。沖縄県(15.4)、佐賀県(7.4)、長崎県・宮崎県(5.9)からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 26%、6-9 歳が 26%、10-14 歳が 23%、15-19 歳が 6%、20-50 歳代が 16%、60 歳以上が 3%を占めた。

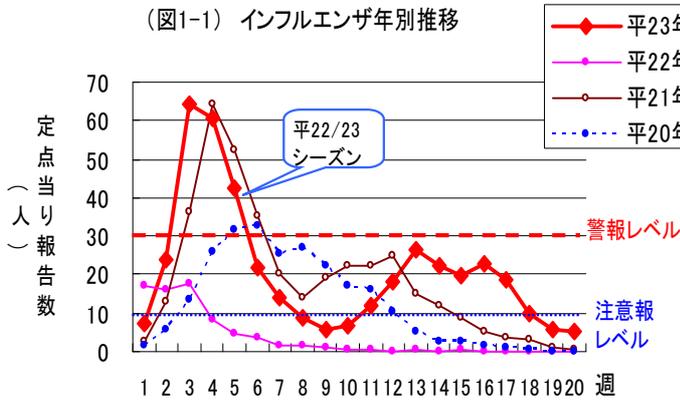
□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 急性灰白髄炎 1 例、結核 391 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 6 例、腸管出血性大腸菌感染症 56 例
- 4 類感染症 : E 型肝炎 2 例、A 型肝炎 5 例、つつが虫病 8 例、デング熱 1 例、マラリア 2 例、レジオネラ症 11 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 11 例、急性脳炎 4 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、後天性免疫不全症候群 12 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 8 例、破傷風 5 例、風疹 12 例、麻しん 28 例

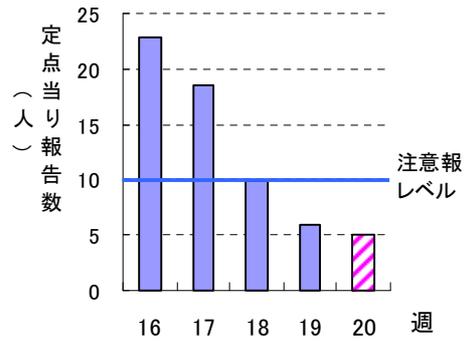
# ■ インフルエンザ情報《県内第 20 週、全国第 19 週（再掲）》

## □ 県内第 20 週インフルエンザ発生動向

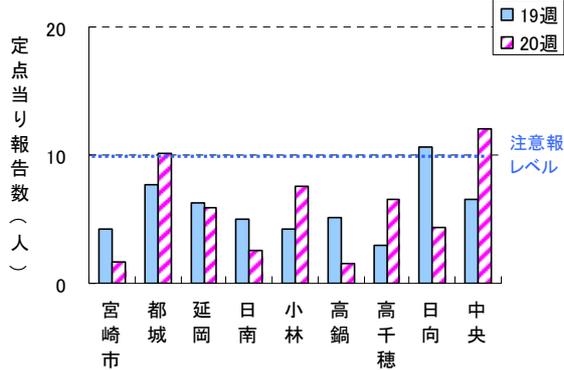
平成 23 年 5 月 16 日～5 月 22 日までの 1 週間で 292 人（定点あたり 5.0）の報告があり、前週と比べ 84%と減少した（図 1-1,2）。中央（12.0）、都城（10.1）、小林（7.6）、高千穂（6.5）保健所からの報告が多かった（図 2）。年齢別では 5 歳以下が全体の 34%、6-9 歳が 29%、10-14 歳が 24%、15-19 歳が 3%、20 歳以上が 10%を占めた（図 3）。



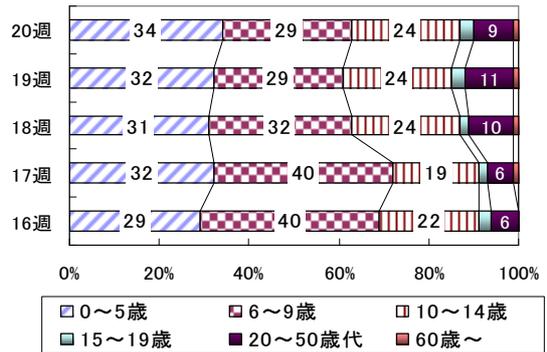
(図1-2) インフルエンザ週推移



(図2) 保健所別報告数



(図3) 年齢群別の割合 (%)



## インフルエンザの定点あたり報告数と警戒・注意報レベル発生状況

○: 警戒レベル、△: 注意報レベル、- 警戒・注意報レベルなし

保健所	今週 (第20週)		1週前 (第19週)		2週前 (第18週)		3週前 (第17週)		4週前 (第16週)		5週前 (第15週)	
	5/16~5/22		5/9~5/15		5/2~5/8		4/25~5/1		4/18~4/24		4/11~4/17	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	1.7	-	4.2	-	7.6	-	17.3	△	21.0	△	20.8	△
都城	10.1	△	7.7	-	15.5	△	26.8	△	26.8	△	17.5	△
延岡	5.9	-	6.3	-	16.4	△	26.9	△	28.1	△	22.9	△
日南	2.6	-	5.0	-	6.8	-	16.0	△	18.4	△	11.0	△
小林	7.6	-	4.2	-	4.8	-	8.6	-	11.6	△	6.0	-
高鍋	1.5	-	5.2	-	7.0	-	12.5	△	26.5	△	28.3	△
高千穂	6.5	-	3.0	-	3.0	-	2.0	-	9.5	-	3.5	-
日向	4.3	-	10.7	△	12.8	△	24.5	△	31.7	○	27.7	△
中央	12.0	△	6.5	-	4.0	-	7.5	-	13.0	△	28.5	△

## □ 全国第 19 週インフルエンザ発生動向

平成 23 年 5 月 9 日～5 月 15 日までの 1 週間で 9,675 人（2.0）の報告があった。前週の 58%と減少した。沖縄県（15.4）、佐賀県（7.4）、長崎県・宮崎県（5.9）からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 26%、6-9 歳が 26%、10-14 歳が 23%、15-19 歳が 6%、20-50 歳代が 16%、60 歳以上が 3%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第20週(05月16日～05月22日)

疾病名		第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	348	292	27	101	41	13	38	9	13	26	24
	定点あたり	5.90	4.95	1.69	10.10	5.86	2.60	7.60	1.50	6.50	4.33	12.00
RSウイルス 感染症	報告数	5										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	32	41	2	12	11	8		4		4	
	定点あたり	0.89	1.14	0.20	2.00	2.75	2.67	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	131	122	25	14	35	19	1	11	3	11	3
	定点あたり	3.64	3.39	2.50	2.33	8.75	6.33	0.33	2.75	3.00	2.75	3.00
感染性胃腸炎	報告数	301	264	48	52	23	13	35	28	9	40	16
	定点あたり	8.36	7.33	4.80	8.67	5.75	4.33	11.67	7.00	9.00	10.00	16.00
水痘	報告数	137	101	28	10	9	2	15	16	2	16	3
	定点あたり	3.81	2.81	2.80	1.67	2.25	0.67	5.00	4.00	2.00	4.00	3.00
手足口病	報告数	62	127	29	3	47	2		12	3	29	2
	定点あたり	1.72	3.53	2.90	0.50	11.75	0.67	0.00	3.00	3.00	7.25	2.00
伝染性紅斑	報告数	88	80	31	6	5	7	2	18	1	9	1
	定点あたり	2.44	2.22	3.10	1.00	1.25	2.33	0.67	4.50	1.00	2.25	1.00
突発性発しん	報告数	40	51	14	8	10	5	4	3		7	
	定点あたり	1.11	1.42	1.40	1.33	2.50	1.67	1.33	0.75	0.00	1.75	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	11	38	5	2	8	2	1	2		17	1
	定点あたり	0.31	1.06	0.50	0.33	2.00	0.67	0.33	0.50	0.00	4.25	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	78	76	46	3	5	18		2	1	1	
	定点あたり	2.17	2.11	4.60	0.50	1.25	6.00	0.00	0.50	1.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	20	15	13	1	1						
	定点あたり	3.33	2.50	4.33	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1				1					
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～20週)

2類感染症	結核	105例(3)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	15例			
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	2例	
	アメーバ赤痢	5例(1)	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎 3例
5類感染症	髄膜炎 菌性髄膜炎	2例(2)	後天性免疫不全症候群	6例	梅毒 3例
	破傷風	3例(1)	風しん	1例	麻しん 1例

●動物感染症累積報告数(2011年1週～20週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

( )内は今週届出分、再掲